

市民広聴会「まちづくりほっとミーティング(第5回)」会議録(概要)

<テーマ> 未来の南公園

日時	令和3年9月26日(日)9時~10時30分
会場	南公園遊園地広場(若松町)
出席者	参加者(公募)10名、市長

1. 市長あいさつ・広聴会の趣旨説明【市長】

・今日のような雨の日でも、どのように南公園を楽しめるかは重要な論点の一つである。それを体感しながら話し合いができるという意味では、ふさわしい天候になったと感じている。

2. 今回のテーマについての説明【市長】

・南公園が老朽化している中で、どのような姿に生まれ変わらせていくべきかについては、市民の皆さま方からのご意見を十分踏まえながら進めなければならない。

・年末年始にパブリックコメントを行った。100件を超える非常に多くのご意見をお寄せいただき、南公園に対する関心の高さを伺うことができた。

・私は週末の朝、南公園でラジオ体操をする。平日であれば約100人、週末になると約150の方が集まってラジオ体操が行われるが、そのような機会にお話をして南公園の改修計画自体をご存知ない方が多くいる。

・市民から愛される南公園の未来のためには、市民の皆さま方のご要望やご意見を十分に踏まえて進めていかなければならない。かねてから南公園について「まちづくりほっとミーティング」のテーマに取り上げたいと思っていたが、再度アンケート調査を行い集計が終わった、まさに今日のタイミングで開催させていただくことが非常に有意義で意味のあることだと考える。

3. 参加者のテーマに関する意見表明

【参加者A】

・民生委員を務めている。商業施設化した遊園地という視点ではなく、次世代を担う子どもたちの50年後、100年後を見据えた持続可能な公園、自然との共生を体験できる教育の場としての再整備を検討していただきたい。

・多くのことがAI・IoTで代替可能だが、人間の強みは情報や知識だけでなく感性や共感力である。子どもが昆虫を気持ち悪がって触れない、裸足で歩けないなど、人間ならではの身体感覚が劣化して機械化していると感じる。

・子どもたちが自分で考え発見できる森づくりを行い、公園で気付いたこと、調べてみたいと思ったことが学習・交流できる拠点としての体験ハウスを設置するのはどうだろう。家族・友達・地域の皆さんで共有し、自然と向き合って癒やされる場の提供をすることで自然と共生しながら

生きていくヒントを得られたらと期待している。

【参加者B】

・小学校6年生である。週に2回は南公園で遊んでいる。岡崎市の60%が森林面積だと知り、岡崎市の木を使ったアスレチックがあればいいと思った。

・岡崎市のプールは小さいので楽しめるプールが欲しい。コロナ禍で公園に来る大人も多いため、みんなが健康になれる遊具があればよい。

【参加者C】

・小学校6年生である。身近で理科に触れ合える場所が少ないので、科学実験や工作ができる屋内の遊び場が欲しい。目の前で実験が見られたら、とても感動する。

【参加者D】

・公園愛護運営会で活動している。花や木の管理・イベント運営など、地元住民が主体となって活動しておりやりがいを感じているが、ヒト・お金の問題に苦心している。

・南公園の基本計画は子育て世帯にスポットを当て過ぎだと思えるところもある。高齢者も含めてもっと幅広い世代が楽しめるエリアになればよいのではないかな。

【参加者E】

・小学校1年生と5年生の子どもがいる。10月3日の秋祭りでは子どもがチアダンスショーをする。今後も子どもたちが自信に繋がるような活躍できる場を設けていただきたい。

・去年の秋祭りでは交通公園の地面にチョークで絵を描いているのを見て、子ども時代のろう石やゴム跳びを思い出した。プロジェクションマッピングなど華やかなイベントも思い付いたが、昔ながらの遊びも次世代に繋げていきたい。

【参加者F】

・中学校1年生、小学校5年生と3年生の子どもがいる。5点の希望がある。

・1点目、今の遊園地や交通広場は料金がリーズナブルで助かっているので存続してほしい。アスレチックのような大きい子ども向けの遊具があるとよい。2点目、まだ日本で数少ないといわれている「インクルーシブ（体に障がいがある子もいない子も一緒になって遊ぶことができる）公園」に再整備するのがよいのではないかな。3点目、雨や猛暑の日にも遊べる室内遊具施設や屋根付きグラウンド、多目的広場があるとよい。4点目、市民プールは温水プールを希望したい。5点目、イヌを飼っており散歩で南公園を訪れる。小さくてもいいので公園の一角にドッグランがあると家族みんなで遊べる公園になる。

【参加者G】

・岡崎百景の会に所属している。南公園は、遊ぶだけではなく見るところもたくさんある。雨や猛暑の日には遊べる屋根付きの遊び場が欲しい。テニスコートと交通公園が分断されているので、その動線を一つにして、周遊できるような繋がりのあるエリアが欲しい。

【参加者H】

- ・市民の声岡崎という市民グループに所属している。自分たちで721名からアンケートを集めた。市のアンケートでは改修賛成派が8割ということだが、こちらのアンケートでは「現状のままでいい」「コロナ禍でここにお金をかけることはない」という方が36%、「老朽化した一部の改修でよい」という方が43%、合わせると79%が現状、あるいは部分改修でよいと答えている。全面改修を希望する声は5%しかない。
- ・改修は20年間にわたってPFIという手法で進めるということだが、さまざまな問題がある。会計検査院からはPFIで行うと公共でやるより税金が高くつくとの発表がある。

【参加者I】

- ・以前からジョギングなどで南公園を利用している。四季折々の花々や果樹を楽しめる公園にして、子どもに想像性を持たせる催し物を企画してもらえるとありがたい。これだけの広さがあるので健康づくりができるエリアを設け、雨の日でも楽しめる公園がよい。
- ・民間のゼネコンからPFI事業はマンパワーが必要だと聞いた。将来的にお金の問題が出てくると思うが、増収して出来上がる計画をしてほしい。

【参加者J】

- ・年長、年中、2歳の子どもがいる。雨の日には南公園に行く気がなくなる。周りの子育て世帯から「岡崎市にはこんな公園があっていいね」と言ってもらえるスポットを作してほしい。
- ・遊具が少なく、小学生になると遊びに来なくなる。市内にプレイルームはあるが小学生は入れない。多年齢で遊べるような公園になってほしい。有料でも良いので、囲ったアスレチックルームのような施設があるとよい。

4. 意見交換

【高学年の子ども向け施設】

市長

- ・ご意見の幾つかは改修計画に既に入っている。しかし、十分に周知されないまま物事が進行していくのは望ましいことではない。少なくない税金を使うため、市民の皆さまに納得感を持っていただいた上で進めたい。織り込まれていない市民ニーズがあれば付け加えたい。
- ・小学校中高学年の児童、中学生が楽しめる公園であってほしいという声が多い。小学校高学年のお子さんが友達と過ごすには、どのような施設が必要だろうか。

【参加者B】

- ・いつもグラウンドでサッカーをして遊んでいるのでサッカーゴールが欲しい。

【参加者C】

- ・屋外ならバスケットゴール、屋内ならバレーボールのネットが欲しい。

【参加者F】

・子どもはバレーとバスケット、それぞれ違う競技をしている。天候に関係なく遊べる広場があるとよい。

【参加者E】

・先月、乙川で体験型イベントがあった。講師を呼んで教室を開くのはどうだろうか。

【高齢者の方々に必要な施設】

市長

・高齢者の方々にとっては何が不足しており、どのような公園であってほしいだろうか。

【参加者D】

・古い市民プールに代わって親水広場（小さい子どもが安心して水と親しみ涼を感じることができ、1年を通じて使用可能な広場）になる計画だが、低年齢の子どもしか楽しめない。新しくグレードアップしたプールがあれば、高齢者の健康管理にも役立つ。

【参加者I】

・ユニバーサルデザインを意識し、安全に散歩できるような施設づくりに重点を置いてほしい。

【参加者C】

・祖母が南公園にウォーキングできるエリアが欲しいと言っていた。日中も夜間も利用できる分かりやすいウォーキングコースを整備してほしい。

市長

・実体験からの切実なご要望として受け止めた。

・あらゆる行政施策において「ユニバーサルデザイン」「バリアフリー」「インクルーシブ」というキーワードは外すことができない。南公園においても導入していきたい。

【今ある自然を活かす】

【参加者A】

・最終的に南公園に何を残していくのか。現在のプールを設置する際に美しい桜並木が伐採され、住民は唖然とした。どれだけの緑を伐採して、皆さんの要望を叶えていくのか。20年後、30年後、私たちが望むのはどのような公園なのか、再確認しながら議論を進めていきたい。

市長

・もともとある自然を活用するという意味でいえば、梅林や池は現状を活かしてより良いものにしていきたい。

【パパママ世代に必要な施設】

市長

・パパママ世代が子どもと過ごすときに、どのような公園であってほしいだろうか。

【参加者G】

・カフェを作ったらよいのではないか。わが家は3世代で南公園を訪れる。小さな子どもでも安全に遊べるエリア、高学年の子どもが遊べるエリア、大人がおいしいお茶を飲めるカフェがあると、それぞれが過ごせる。

【参加者J】

・イオンのフードコートのような気軽に飲食できる施設があれば足を運びやすい。高齢者の方々とよく南公園を訪れるが、子どもが遊んでいる姿を見るだけで活力になるので、お店として囲ってしまおうのではなくテラス席のように開けているとよい。

・パパママ世代ならオムツの外れない子と一緒に来る。広いプールで遊びたい、水に顔をつけたい、水が出る大型遊具が楽しい、さまざまな要望を耳にする。半径3mほどで小さくてもよいので噴水広場を作ってほしい。

【参加者F】

・カフェという身構えてしまう。今でもレジャーシートを持って気軽に来られるが椅子や日陰が少ないので、そのようなエリアがあるとパパママは休憩しつつ1日遊べる。

【民間ではなく市直営の管理を】

【参加者H】

・常に安い料金で観覧車を利用することができ、非常に良い公園だと思う。民間に任せると料金が上がるのではないかと懸念している。

・PFIでは市で料金のコントロールができず、最終的には民間業者の都合で変更されてしまう。何を作ってもいいが、岡崎市のコントロールできる範囲で進めるために、PFIではなく岡崎市直営の運営でお願いしたい。

【屋外グラウンドから屋内広場への改修】

市長

・雨の日でも遊べる屋根付き広場と屋内遊戯施設を作ることが、今回の改修の一番の目玉である。それはほぼ共通するご要望だとは思いますが、そうすると野球やサッカーができるグラウンドがなくなってしまう。関連してご意見はあるだろうか。

【参加者H】

・毎週テニスコートを利用しているが、今度の計画でつぶされて屋内遊戯場になる。民意であれば作ることは反対しないが、公の園と書いて公園と読むように緑と青空の下で野外で憩える場

所がよい。

・計画にはボールパークがあるがイオンにもある。アウトドアで子どもたちが走り回り、高齢者が散歩できるような、今の南公園が望ましい。

【参加者A】

・屋内施設イコール遊戯場というだけではなく、南公園は広域避難場所にもなっている。若松東の800世帯の中で300人が75歳以上であることを考えると、上地小学校の体育館だけでは足りない。屋外の公園で真夏・真冬に過ごせるだろうか。高齢者も安全に救助を待てる地震対策の視点を盛り込んだ屋内施設も検討していただきたい。

市長

・感染症対策も含めて避難所にはさまざまな役割が求められる。かつては車中泊に否定的だったが、現在は取りあえずの避難先として一つの選択肢となり考え方も変わってきている。

・屋内施設や屋根付きの芝生広場は避難施設として活用できる。例えば、キャンプのような形で取りあえずしばらくの間をしのぐことも選択肢の一つとして考えられるのではないだろうか。

【参加者B】

・僕はいいと思うが、友達とは屋外でしか遊べない。屋根のあるグラウンドは、そこまで良いと思わない。

【参加者C】

・雨の日に遊べる施設は欲しいが、晴れの日はお日様の下で遊んだほうが楽しい。

【交通広場の活用】

【参加者C】

・交通公園で自転車を借りられるが台数が少なくコースも小さい。小さい子と中学生が同じスペースで自転車に乗っているのが危険を感じることもある。コースを年齢で分けてほしい。

【参加者I】

・CGを活用した安全体験コーナーが欲しい。

【参加者G】

・SLは過去に実際に走っていて岡崎百景の1つである。展示はされているが、あまり目立たない。

・ゴーカートが走るには狭い。大人向けに交通安全を啓発するようなイベントを開催するのはどうだろうか。

市長

・交通広場は岡崎の伝統の一つ。現代の交通事情に合わせてアップデートしていきたい。

【バーベキュー広場の設置】

市長

・バーベキュー広場というご意見もあったが、アンケートでは賛否両論である。

【参加者D】

・個人的に南公園には他にはない魅力がほしい。キャンプブームで市内の既存公園にもバーベキューができる場所はあると思うので、あえて取り入れる必要はない。

【参加者F】

・それほど頻繁に行くものではないし、どうせやるなら山や川など自然を感じられる場所がよいので、個人的にそれほど魅力を感じない。

【参加者B】

・必要ないと思う。南公園ではなく、山など別の所でしたほうが楽しく感じる。

【参加者J】

・皆さんと同じで木の葉の日陰の下で、おいしい空気と一緒に食べるのが最高であって、公園でバーベキューをするイメージはない。市内には他のバーベキュー場もあるので、南公園には必要ない。

【参加者H】

・災害のときに人々が集まって炊き出しをするなどのニーズがある。火を使ってご飯を食べられるような場所であれば、バーベキュー広場があってもよい。ただし、20年間、民間に貸し出しでしまったら市のものではなくなる。災害時に市が使えるのかは大きな問題であり、直営でなければいけない。

市長

・会場の挙手ではバーベキュー広場への賛成はゼロだが、アンケートの回答では半々なので相対的にご意見を踏まえていきたい。「バーベキューにはお酒が付きものなので、お酒を飲む公園になってほしくない」「臭いが出る」「深夜まで若者が騒ぐのではないか」という否定的なご意見もある。

【プールから親水広場への改修】

市長

・市全体でもプールは大きな問題として考えていかなければいけない。オリンピック競技が行えるような大きなプールを望むご意見もあるが、グレードの高い施設は子どもたちが普段使いできるものではない。

・競技用プール、水遊びができる温水プール、ウォータースライダーなど、さまざまなバリエーションのご提案がある。岡崎市内にある南公園という位置付けから見た、プールへのご意見をお伺いしたい。

【参加者C】

・南公園のプールには小さい子供たちが来るので競技用ではなく、ちゃばちゃば遊べるプールがよい。

【参加者E】

・小さくてよいのでお子さんから高齢者のリハビリまで幅広い年代が利用できる施設にしてほしい。

【南公園の未来に期待すること】

【参加者A】

・公園なので、市民みんなが南公園があって良かったと思える視点だけはぶれずに話し合いを進めたい。

【参加者B】

・南公園は今のままでも楽しいが、みんなが楽しめる公園であってほしい。

【参加者C】

・南公園は小さい子供から高齢者まで、みんなが楽しめる公園であってほしい。緑はきちんと管理しながら残してほしい。

【参加者D】

・現状の南公園も魅力的である。今後、市民の声が反映され、どのような南公園になるのが楽しみにしている。

【参加者E】

・8年前に引っ越してきたが、東公園では無料でゾウが見られて、南公園では何十円で乗り物が乗ることができびっくりした。子どもたちの生の声を聞いて、大人が協力しあって今ある良いところを残しつつ、未来に繋がる南公園になればよいと思った。

【参加者F】

・雨の日でも遊べる施設が必要だ。雨だと日曜日なのに休園日のように静かな公園がとても寂しい。幅広い年代が使える公園に変わっていけばよい。小さいときから利用している南公園の改修がとても楽しみである。

【参加者G】

・現状でもお弁当とボール一つ持ってくれば1日遊べる。しかし、雨や猛暑の日にも遊べるように雨よけや木陰があると嬉しい。

・観覧車に乗ると昔とはまた違う景色が見える。遊具が老朽化しているならば残していけるようリニューアルし、何十年たっても楽しかった思い出がよみがえるような公園であってほしい。

【参加者H】

・東京オリンピックには、国民1人当たり3万円の税金がかかっている。南公園への夢はあるが税金がかかるので、お金の使い方を考えていかなければいけない。私が取ったアンケートでは79%の人が現状の南公園に満足している。もっと他に、この税金を使えるところはないかという観点も考えたい。

【参加者I】

・遊具を継続して使えるようにし、老若男女問わず来てもらえるような公園づくりが大切。四季折々の花や緑を楽しめる施設にしてもらいたい。

・バーベキューをするならば、岡崎の農産物をおいしく食べられるような施設を作ればよいのではないか。

【参加者J】

・岡崎市は全国出生率を上回っており、転入ママが3割以上もいる特殊な地域である。転入ママ、地元のママ、皆さんの声に耳を傾けていただいて新しく子どもたちの思い出に残る南公園になればよい。

【観覧者から南公園への期待】

【観覧者A】

・パブリックコメントではテニスコートやグラウンドをつぶさないでほしいという意見があった。屋根のある雨の日も遊べる公園は、子育て世帯の親にとって長い間の願いではあるが、作るとグラウンドがつぶれてしまう。親水広場を作るとプールがつぶれてしまう。現行の計画のままいくのか、真っさらにして皆さんが語った夢を積み上げていくのかをはっきりさせてほしい。

【観覧者B】

・現状でも遠方から小さい子どもを連れた親が遊びに来ている。何もかも求めると魅力のない公園になる。南公園らしい特徴をはっきり出してほしい。

【観覧者C】

・アンケート調査で実際の利用者の人たちにさまざまな意見を聞いた感覚として、地元の人が改修計画についてほとんど知らなかったことがショックだった。ほっとミーティングで終わってしまうのではなく、みんなの意見を積み上げながら、傷んだところから一步一步改修すれば十分だ。

・今後は風速100mの台風が来るという現実の中で、テント式の日陰は相当な被害に遭う。災害にも強い施設を期待している。

5 . 総括

市長

- ・いずれも傾聴に値するお声を承ることができ有意義な時間であった。あえて一言でまとめると「現状の良いところを活かし、これから欲しいものを付け加えていく」ということだろうと思う。
- ・バリアフリー、インクルーシブ、ユニバーサルデザインになっていないものは、できる限り変更していきたい。市議会全ての会派からも、雨や猛暑の日でもファミリーで過ごすことのできるスペースが欲しいとの要望が出ており、アンケート調査においても多くの賛同の意見をお寄せいただいた。
- ・グラウンドやテニスコートを利用されている方々からの要望も無視はできず、できる限り南部地域で代替施設を見つける努力をしたい。
- ・屋根付き広場や屋内遊戯施設においては防災機能を併せ持つものでなければならない。芝生広場においては地産地消のマルシェのようなものが開催されるとよい。さらにペットと一緒に楽しめるドッグランが欲しいというご意見にも耳を傾けたい。
- ・多くの皆さまに愛される南公園として改修計画を進めていきたい。これからも、さまざまなご意見をお寄せいただきたい。

【司会】

- ・今回の内容については、後日ホームページなどで広く周知することで皆さんに市政への関心を高めていただき、より良いまちづくりへ繋げていきたい。
- ・年内に「未来の南公園」に関するフォーラムを予定しているため、引き続きご意見を共有していきたい。

(了)